

“**中原**”
なかはら

“**開**けて良**い**?”
あ







かえ
帰れよ

オレは全然
いつも通りだから



ああ

.....



ほんとう？
本当？



とけ
よ.....！

ほっ……

……なら
顔見て話したい

……
明日で
いいだろ

……
少しで
良いから

……
嫌だよ

なかは……



かえ
帰れ！

明日になったら…
お前が知ってる
オレに戻る

……
それでいいだろ



ヤッ
ッ
ッ

やめろって
……！

！
お
ッ

ダ
ダ
ダ

……

それまで
中原は
どうするんだよ

ひとり
1人で
いるの？

オレは
今までだって

ずっとそうして
きたよ……！

……中原が教えて
くれたんだろ

本当に友達
の味方になって
あげたかったら
傍にいますって



じゃあ
せめてここに
いさせてよ





嫌だ

.....

ほっ

嫌だ
って...

...なんでそんな事
言うんだよ

中原は強いし
頼り甲斐あるし

...だから...
遅えって

そんな
事ないだろ
だって

違えん
だよ...!

オレは
強くないし

頼り甲斐も
無い!

.....
オレは

お前が思ってる
ような人間じゃ
ない



オレは
お前が泣いたの見て
優越感感じてたよ



……そういう
人間なんだよ

……まあでも
知ってたろ？
最初から



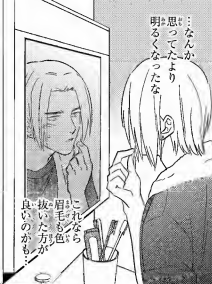
自分も強く
なれた気で
いた



お前を連れて
歩く事で







歩く時は

もうちょい
大股……

紙められない
ように

もつと強く

あんまり喋ると
ボロが出るから

無口な
キヤラで行こう
悔そうな感じで

隙のない
人間になれば
きつと

3番線に
電車が参ります

黄色い線まで
お下がりがたさい

スイマセン
……

